

吹田市子ども・子育て支援事業計画策定に関する アンケート調査のお願い

小学生のお子さんのいる保護者の皆様へ、吹田市の教育・保育・子育て支援に関する調査にご協力をお願いします。

日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

吹田市では、平成31年度（2019年度）に、子ども・子育て支援法第61条に基づき、平成32年度（2020年度）から平成36年度（2024年度）までを計画期間とする「第2期吹田市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

そこで、皆様の日ごろから子育てに関しどのようなことを思われているのかをお聞きし、子ども・子育て支援事業計画に反映していくため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

このアンケート調査は市内にお住まいの小学校1年生～6年生のお子さんがおられるご家庭を対象とし、合計3,000人を無作為に選ばさせていただきました。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、この調査の目的のみに使用するものであり、それ以外の目的に使用して、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、お名前などを記入していただく必要もありません。

アンケート調査の対象となりました皆様方には、お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の目的・趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせいただきますようご協力をお願い申し上げます。

平成30年（2018年）12月

吹田市長 後藤 圭二

（ご記入にあたってのお願い）

- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をご使用ください。
- ことわり書きのある場合以外は、封筒に書かれているあて名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 回答は選択肢に○をつけて選ぶ場合と数字を記入する場合があります。
- 設問によって回答が「1つ」や「すべて」等と限定される場合がありますので、それに従って回答してください。
- 「その他」にあてはまる場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、設問のことわり書きをお読みください。
- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成31年（2019年）1月8日（火）までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

【調査についてのお問い合わせ先】

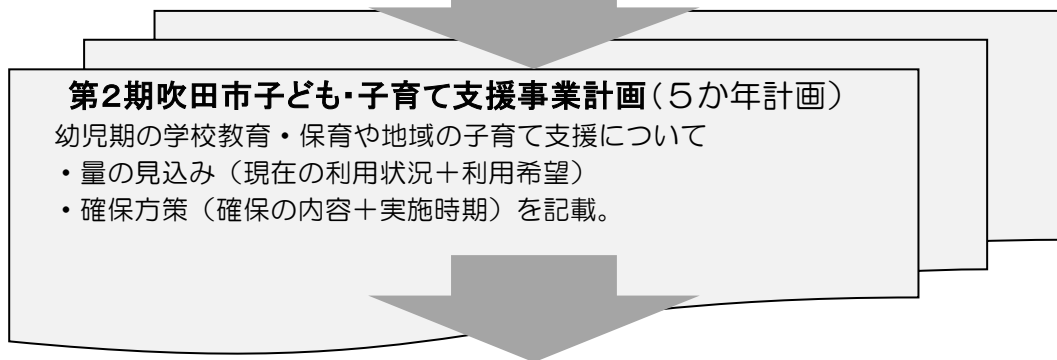
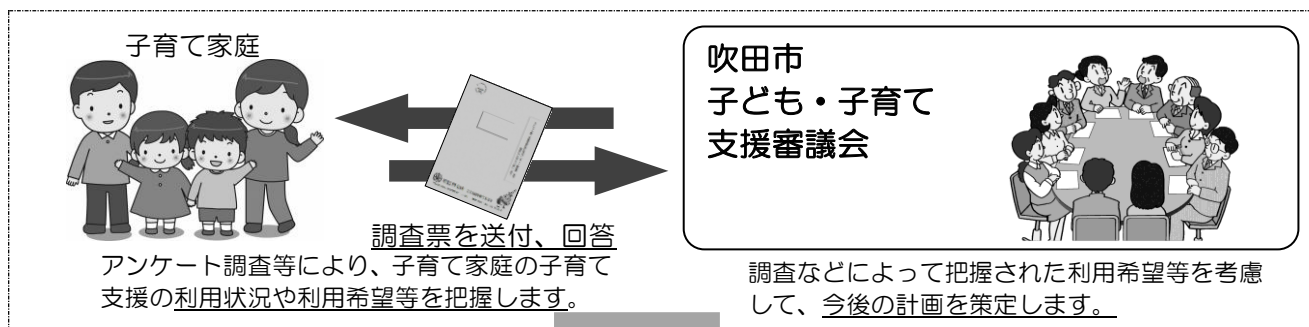
吹田市 児童部 子育て支援課

TEL：06-6384-1491

FAX：06-6368-7349



みなさんの回答が吹田市の子育て支援に生かされます。



計画に基づいて整備されます。

- ・留守家庭児童育成室
- ・ファミリー・サポート・センター



～子ども・子育て支援新制度の考え方～

- ◆急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- ◆子どもの成長においては、社会全体の責任として乳児期・幼児期・学童期の心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性のある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれる環境を整備することを目指しています。
- ◆以上のような考え方をもとに、保護者が子育てについて責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育ての負担や不安、孤立感を和らげ、保護者が自己肯定感を持って子どもと向き合う環境を整え、子育てや子供の成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

(用語の定義)

この調査における用語の定義は以下のとおりです。

- 子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

1. ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問1 お住まいの地域の小学校区名をご記入ください。

() 小学校区
お住まいの小学校区がわからない場合は、町名番地をカッコ内にご記入ください。
() 町 () 番

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、お答えください。
(1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問3 お子さんの生年月月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。

平成・西暦 () 年 () 月生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。なお、平成30年4月2日以降に生まれているお子さんは、0歳としてください。

() 人	末子の年齢 () 歳
-------	-------------

問5 お子さんは次にあげる医療的ケアを受けていますか。(すべてに○)

1. 経管栄養	2. 吸引	3. 吸入	4. 気管切開	5. 人工呼吸器
6. 経鼻I7ウエイ／下咽頭チューブ	7. 酸素投与	8. 中心静脈栄養	9. 導尿	
10. ストマ管理	11. パルスオキシメーター	12. 服薬管理		
13. 血糖測定	14. その他 ()	13. 受けていない		

問6 あなたは、子育て以外に、高齢者や障がいのある人（子ども）の介護を日常的に行っていますか。
(1つに○)

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問7 お子さんとの同居・近居の状況についておうかがいします。続柄はお子さんからみた関係です。
(すべてに○)

注：父母が単身赴任や長期出張をしているなどの場合は、「同居している方」の「1.」「2.」に○をつけてください。

同居している方	近居している方 (概ね30分以内程度に行き来できる範囲)
1. 父親	1. 父親
2. 母親	2. 母親
3. 祖父	3. 祖父
4. 祖母	4. 祖母
5. 兄弟姉妹	5. 兄弟姉妹
6. その他 ()	6. その他 ()

問8 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。選択肢はお子さんからみた関係です。(1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 (|) |

問9 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。(すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5. いずれもない |

問10 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所であてはまるものをお答えください(すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 配偶者 |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 小学校の先生 |
| 6. 留守家庭児童育成室の指導員 |
| 7. 児童会館・児童センターなどの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体 |
| 8. ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生 |
| 9. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市役所の教育相談の窓口 |
| 12. こども発達支援センター(地域支援センター)の職員 |
| 13. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 14. 相談できる人はいない |
| 15. その他 (|

※「留守家庭児童育成室」…放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)のこと。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

問11 お子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(1つに○)

※父子家庭の場合は記入不要です。→問12へ

- | |
|--|
| 1. フルタイムで働いている |
| 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) |
| 3. パート・アルバイトなどで働いている |
| 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) |
| 5. 以前は働いていたが、今は働いていない |
| 6. これまで働いたことがない |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→「1.」から「4.」を選ばれた方は問11-1へ、「5.」「6.」を選ばれた方は問12へ

問 1 1-1 1週間にどのくらいの日数働きますか、1日あたりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。()内に数字を記入)

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
家を出る時間 (:)	帰宅時間 (:)

問 1 2 お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(1つに○)

※母子家庭の場合は記入不要です。→問 1 1 で「3.」「4.」を選ばれた方は問 1 3 へ、
「5.」「6.」を選ばれた方は問 1 4 へ

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→「1.」から「4.」を選ばれた方は問 1 2-1 へ
「5.」「6.」を選ばれた方は問 1 4 へ

問 1 2-1 1週間にどのくらいの日数働きますか、1日あたりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。()内に数字を記入)

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
家を出る時間 (:)	帰宅時間 (:)

→問 1 2 で「3.」「4.」を選ばれた方は問 1 3 へ、それ以外の方は問 1 5 へ

問 1 3 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→問 1 5 へ

問 1 6-1 留守家庭児童育成室を利用されている理由は何ですか。(1つに○)

1. 保護者が働いている
2. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
3. 保護者に病気や障がいがある
4. 保護者が学生である

問 1 6-2 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成室の利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。(1つに○) 希望がある場合は、枠内に具体的な数字をお答えください。() 内に数字を記入) なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい
→利用したい時間帯 (:) ~ (:)

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい
→利用したい時間帯 (:) ~ (:)

→ (1) または (2) で「3.」を選ばれた方は問 1 6-3へ、
それ以外の方は問 1 6-4へ

問 1 6-3 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 1 6-4 現在通っている留守家庭児童育成室にどのようなことを希望しますか。(すべてに○)

1. 朝の利用時間を延長する
2. 夕方の利用時間を延長する
3. 施設や設備を改善する
4. 指導内容を工夫する
5. その他 ()
6. 特になし

問16-5 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(1つに○)

「1.」を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。

- 1. 留守家庭児童育成室を利用したい
→ 小学 () 年生まで利用したい
- 2. 太陽の広場 (こどもプラザ事業) を利用したい
- 3. スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
- 4. 子どもに自宅の留守番をしてもらう
- 5. その他 ()

※「太陽の広場 (こどもプラザ事業)」…放課後子供教室のこと。地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、自由遊び、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

→問18へ

問17 留守家庭児童育成室を利用していない理由は何ですか。(1つに○)

- 1. ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
- 2. ご自身や配偶者の親、親せきがみている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4. 父母とも働いていて利用したいが、留守家庭児童育成室に空きがない
- 5. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
- 6. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
- 7. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
- 8. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 9. その他 ()

問17-1 今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童育成室を利用したいとお考えですか。(1つに○) 希望がある場合は、日数・時間もお答えください。()内に数字を記入) なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい	
1 週当たり () 日	
1 日当たり () 時間 (:) まで	
1 を 選 ば れ た 方	【土曜日の利用希望】
	1. ある ⇒ 1 日当たり () 時間 (:) まで
	2. ない
	【日曜日・祝日の利用希望】
1. ある ⇒ 1 日当たり () 時間 (:) まで	
2. ない	
2. 今後も利用しない	

問18 現在、留守家庭児童育成室の利用は4年生までを対象としています。もしも6年生まで利用できるとしたら、利用したいですか。(1つに○)

- 1. 利用できないと困る
- 2. できれば利用したい
- 3. 利用したいとあまり思わない
- 4. 利用しない

→「1.」「2.」を選ばれた方は問18-1へ、「3.」「4.」を選ばれた方は問19へ

問18-1 6年生まで利用できるとしたら、留守家庭児童育成室にどのようなことを期待しますか。
(すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 遊ぶ能力を身につけさせる
2. 学習する習慣を身につけさせる
3. 最低限のマナー・礼儀作法を身につけさせる
4. 身の回りのことができるようする
5. コミュニケーション能力を身につけさせる
6. 違う年齢の児童との交流
7. 安全安心な放課後を過ごす
8. 預けている間はしっかり世話(保育)をしてくれればいい
9. 見守り程度の世話をしてくれればいい
10. その他 () |
|--|

3. お子さんが病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについておうかがいします。

【すべての方におうかがいします】

問19 お子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1. あった
2. なかった |
|-------------------|

→「1.」を選ばれた方は問19-1へ、「2.」を選ばれた方は問20へ

問19-1 この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったときの**対処方法とその日数をお答えください。半日程度についても1日としてカウントしてください。**
(すべてに○、()内に数字を記入)。

対処方法	日数(年間)
1. 父親が仕事を休んだ	()日
2. 母親が仕事を休んだ	()日
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()日
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた	()日
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	()日
6. 家事育児代行サービスを利用した	()日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
9. その他 ()	()日

※「ファミリー・サポート・センター」…センターに登録している近所の方が子どもをみてくれるサービス。

→「1.」「2.」を選ばれた方は問19-2へ、「3.」～「9.」を選ばれた方は問20へ

問19-2 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。希望がある方は日数もお答えください。(()内に数字を記入) なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

- | |
|---|
| 1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい → ()日
2. 利用したいと思わない |
|---|

→問20へ

【すべての方におうかがいします】

問20 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。対処方法とその日数をお答えください。子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。(すべてに○、()内に数字を記入)

対処方法	日数(年間)
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	()日
2. ファミリー・サポート・センターを利用した (センターに登録している近所の方が子どもをみてるサービス)	()日
3. <u>子育て支援短期利用事業(トワイライトステイ)</u> を利用した (仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	()日
4. 家事育児代行サービスを利用した	()日
5. その他()	()日
6. 預けるようなことはなかった	

問21 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことで対処した方法(すべてに○)と年間合計の泊数をお答えください。預け先が見つからなかった場合も含まれます。()内に数字を記入)

1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()泊
2. <u>子育て支援短期利用事業(ショートステイ)</u> を利用した (児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの)	()泊
3. 2以外の保育サービス(家事育児代行サービスなど)を利用した	()泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
6. その他()	()泊
7. みてもらったことはなかった	

4. 仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問22 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。下記枠内の選択肢の中から選び、その番号をその番号を1つだけ記入してください。

(1) 母親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択 ()

(2) 父親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間 番号を選択 ()

<p style="text-align: center;">↑</p> <p>1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない</p>
--

問23 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

(1) 母親

1日 () 時間

(2) 父親

1日 () 時間

問24 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。(すべてに○)

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみってくれる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと(子どもの看護休暇、短時間勤務など)
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8. 子どもを預かってくれる留守家庭児童育成室などがみつからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他 ()

5. 市役所などへの要望についておうかがいします。

問25 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。(すべてに○)

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育園や幼稚園、認定こども園の園庭の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれる子育て広場などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育園や留守家庭児童育成室など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. 子どもの発達支援体制を充実する
18. その他 ()
19. 特になし

6. お子さんの生活習慣についておうかがいします。

問26 お子さんの生活習慣について、お答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 朝ごはんを食べますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 食べる日のほうが多い |
| 3. 食べない日のほうが多い | 4. ほとんど食べない |

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

(3) 平日のテレビ・ビデオ(ゲームも含む)の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 30分以内 | 2. 1時間以内 |
| 3. 1時間30分以内 | 4. 2時間以内 |
| 5. 2時間以上 | |

(4) 就寝時刻は何時ですか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 20時半より前 | 2. 20時半～21時 |
| 3. 21時～21時半 | 4. 21時半～22時 |
| 5. 22時～23時 | 6. 23時以降 |

7. お子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問27 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとにお答えください。(それぞれ1つ記入)

- | | |
|-------------|-----|
| 1. 平日14～16時 | () |
| 2. 平日16～18時 | () |
| 3. 平日18～20時 | () |
| 4. 平日20時以降 | () |
| 5. 休日 | () |

【過ごし方】

- | |
|-----------------------------|
| 1. 授業などで学校にいる |
| 2. 留守家庭児童育成室で過ごす |
| 3. 放課後等デイサービスを利用する |
| 4. 太陽の広場(こどもプラザ事業)に参加する |
| 5. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす |
| 6. 家事育児代行サービスなどを利用する |
| 7. 家や公園などで友だちと過ごす |
| 8. 児童会館・児童センターなど公共の施設にいる |
| 9. 地域活動に参加する(子ども会活動、スポーツ活動) |
| 10. 学習塾や習い事へ行く |
| 11. 家で、ひとりで勉強などをする |
| 12. その他() |

8. お子さんの地域での自然体験などへの参加などについておうかがいします。

問28 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 体験をしやすいと思う | 2. 体験をしやすいとは思わない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

問29 お子さんが参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。
(すべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. スポーツ活動 |
| 2. 文化芸術活動 |
| 3. ボランティア活動 |
| 4. 体験学習活動（ものづくり体験など） |
| 5. 野外活動（キャンプなど） |
| 6. 社会福祉活動（高齢者訪問など） |
| 7. 国際交流活動（ホームステイなど） |
| 8. 青少年団体活動（こども会活動など） |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など） |
| 10. 環境教育活動（自然観察など） |
| 11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など） |
| 12. その他（) |
| 13. 参加したことがない |

→「13.」を選ばれた方は問29-1へ、
それ以外の方は問30へ

問29-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(すべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 活動に関する情報がなく参加しにくい |
| 2. 知り合いなどがおらず参加しにくい |
| 3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある |
| 4. 参加の時間帯が合わない |
| 5. 費用がかかる |
| 6. 活動の内容に興味や関心がない |
| 7. その他（) |

【すべての方におうかがいします】

問30 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。(すべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. スポーツ活動 |
| 2. 文化芸術活動 |
| 3. ボランティア活動 |
| 4. 体験学習活動（ものづくり体験など） |
| 5. 野外活動（キャンプなど） |
| 6. 社会福祉活動（高齢者訪問など） |
| 7. 国際交流活動（ホームステイなど） |
| 8. 青少年団体活動（こども会活動など） |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など） |
| 10. 環境教育活動（自然観察など） |
| 11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など） |
| 12. その他（) |

9. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問3 1 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問3 2 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。(すべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない |
| 13. その他 () |
| 14. 特に感じることはない |

問3 3 吹田市における子育て環境や子育て支援への満足度についておうかがいします。(1つに○)

- | | | | | |
|--------|---|--------|---|---|
| 満足度が高い | ⇔ | 満足度が低い | | |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問3 4 吹田市(家庭・地域・学校など)は子どもにとって住みやすいと感じますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. たいへん住みやすい | 2. まあ住みやすい |
| 3. どちらでもない | 4. あまり住みやしくない |
| 5. とても住みにくい | |
| 6. その他 () | |

問3 5 今後も吹田市で子どもを育てたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

→「1.」を選ばれた方は問3 5-1へ、「2.」を選ばれた方は問3 5-2へ

問3 5-1 吹田市で育てたいと思う理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 自然がある | 2. 地域に活気がある |
| 3. 子育てに関する情報が豊富 | 4. 芸術・文化にふれる機会が豊富 |
| 5. 教育環境の水準が高い | 6. 防犯・防災面で安全性が高い |
| 7. 遊び場がたくさんある | 8. 塾がたくさんある |
| 9. 近所づきあいが活発 | |
| 10. 子ども会など子どもどうしの交流や活動が活発 | |
| 11. 病院がたくさんある | 12. 生まれ育ったところ |
| 13. 親が近くに住んでいる | 14. 親しい友人がいる |
| 15. その他 () | |

→問3 6へ

問35-2 吹田市で育てたいと思わない理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 自然が少ない | 2. 地域に活気がない |
| 3. 子育てに関する情報が不足している | 4. 芸術・文化にふれる機会がない |
| 5. 教育環境が整っていない | 6. 防犯・防災面で不安がある |
| 7. 遊び場が少ない | 8. 近隣で通える塾が少ない |
| 9. 近所づきあいがわずらわしい | |
| 10. 子ども会など子どもどうしの交流や活動の機会がない(少ない) | |
| 11. 近隣に病院が少ない | 12. 生まれ育ったところではないから |
| 13. 親が近くに住んでいない | 14. 親しい友人がいない(少ない) |
| 15. その他 () | |

10. 子育てに対する意識についておうかがいします。

【すべての方におうかがいします】

問36 近所(お住まいの近く)で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問37 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い |
| 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい |
| 3. つらいと感じることの方が多い |
| 4. わからない |
| 5. その他 () |

→「1.」を選ばれた方は問37-1へ、
「2.」「3.」を選ばれた方は問37-2へ、
「4.」「5.」を選ばれた方は問38へ

問37-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(3つまで○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 留守家庭児童育成室の充実 |
| 2. 子育て支援のネットワークづくり |
| 3. 地域における子どもの活動拠点の充実(児童会館・児童センターなど) |
| 4. 子どもの教育環境 |
| 5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 |
| 7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 8. 援護を要する子どもに対する支援 |
| 9. 発達に配慮を要する子どもに対する支援 |
| 10. その他 () |

→問38へ

問37-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。(3つまで○)

1. 留守家庭児童育成室の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童会館・児童センターなど）
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 援護を要する子どもに対する支援
9. 発達に配慮を要する子どもに対する支援
10. その他（)

【すべての方におうかがいします】

問38 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(すべてに○)

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの登所・登園拒否や不登校など
8. その他（)
9. 特にない

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. その他（)
13. 特にない

問39 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(1つに○)

また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。下の枠内の選択肢の中からあてはまるものをお答えください。
(すべてに○)

1. 感じる	⇒	支えている人	()
2. 感じない	⇒	支えてほしい人	()



1. 近所の人	
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者	
3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	
4. 地域活動を行っているNPOなどの人	
5. 市役所の職員	
6. その他 ()

11. その他についておうかがいします。

問40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、
ご自由に記入してください。

長時間調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒(切手不要)に入れ、ご投函ください。